

2008年3月7日

— グローバルビジョン 21 の実現 —

ブラザーグループ 新中期戦略 「CS B2012」

ブラザーグループは 2003 年度を初年度とし、2012 年度を最終年度とした中長期ビジョン「グローバルビジョン 21」（以下 GV21）において、ブラザーが目指すべき 3 つの項目を掲げております。

1. 「グローバルマインドで優れた価値を提供する高収益体質の企業」になる
2. 独自の技術開発に注力し「傑出した固有技術によってたつモノ創り企業」を実現する
3. 「At your side な企業文化」を定着させる

この GV21 実現に向け、10 年間で 3 つのフェーズに分け目標を設定し、戦略を進めてまいりました。このたび 10 年間の折り返しを迎えるにあたり、後半 5 年間のロードマップとして 2008 年度から 2012 年度までを対象とする新中期戦略「CS B2012」を作成し、戦略を明確化いたしました。

「CS B2012」のテーマは「**グローバルビジョン 21 の実現**」です。主力事業であるプリンティング事業の最大化と新規事業の育成・拡大を図り、2012 年度に**売上高 1 兆円、営業利益 1,000 億円**という目標にチャレンジしてまいります。

また 2010 年度までのマイルストーンを合わせて設定し、GV21 実現に向けて必要な施策を着実に実行してまいります。

プリンティング事業においては、グローバルプレーヤーとしてのユニークな地位の確立を目指します。カラー製品のさらなる拡充により「カラーのブラザー」としての事業戦略を推し進めるとともに、モノクロ製品を中心に新興国地域での販売拡大を図ります。また電子文具事業においては、特定用途市場向けのソリューション提供ビジネスを強化いたします。

新規事業においては、ワークスタイルの多様化、ネットワーク環境の進化、コンテンツのリッチ化という変化を捉え、ネットワークイメージングデバイス事業およびネットワーク&コンテンツ事業の 2 つの事業分野において、事業の育成・拡大を図ります。コア技術開発を加速させることとともに、M&A やアライアンスも視野に入れ、次世代の事業の柱を構築します。

「CS B2012」の初年度である 2008 年は、ブラザーグループの創業 100 周年にあたります。本年を節目とし、M&A 等を含めた積極的な投資を行うことで、事業の飛躍的な拡大を図り、2012 年度において GV21 の実現を目指します。

■ 新中期戦略 CS B2012 のテーマ; 「グローバルビジョン 21 の実現」

■ 目標数値

・2012 年度チャレンジ目標;

売上高 1 兆円 (新規事業を中心に 2,000 億円)
営業利益 1,000 億円

・2010 年度マイルストーン;

	2010年度 マイルストーン	(参考)2007年度 業績予想
売上高	7,500億円 (新規事業を中心に500億円)	5,700億円
営業利益	600億円	500億円
当期純利益	350億円	250億円

■ 設備投資および戦略投資、研究開発費

設備投資および 戦略投資(M&A等)	2012年度までの5年間で計3,500億円程度 2010年度までの3年間で計2,000億円程度 ※戦略投資は時期・規模ともに機動的に実施
研究開発費	連結売上高比率で年6%程度 2010年度までの3年間で計1,300億円程度

■ 新中期戦略の重要施策

1. プリンティング事業においてグローバルプレーヤーとしてのユニークな地位を確立する

● “カラーのブラザー”としての市場ポジションの確立

- ・先進国を中心に成長が期待されるカラーレーザー市場において、ブラザーが得意とする小型複合機・プリンタで事業の拡大を目指す。
- ・カラーインクジェット分野において、ビジネス系モデルの強化と高速ラインヘッドモデルの投入により、SOHO(スモールオフィス・ホームオフィス) / SMB(スモール アンド ミディアム ビジネス)市場に加え、コーポレート市場の開拓を図り「カラーのブラザー」を強力に推進する。

●モノクロレーザー事業の最大化

- ・BRICs や中東欧を含む新興国地域での事業規模の拡大を目指し、小型モノクロレーザーでトップクラスのポジションを堅持する。

●電子文具事業の強化

- ・主に欧州、アジアでの販売強化を図るとともに、特定用途市場向けのソリューション提供ビジネスにおいて、M&Aを含めた外部リソースの積極活用を図ることにより、新規市場の開拓を推進する。

2. 新規事業の育成・拡大

●新たな事業の柱を構築

- ・ブラザーグループのコア技術・顧客基盤等をいかし、新規事業を2つの分野(ネットワークイメージングデバイス事業・ネットワーク&コンテンツ事業)において創出する。
- ・事業化を加速させるため、積極的にM&Aやアライアンスを検討し、ベンチャー投資等の活用も含め、新規技術・事業アイデアの取り込みを行う。

ネットワークイメージングデバイス事業

- ・SOHO・SMBを中心に、ワークスタイルの変化に対応できる、小型・軽量・省電力を追求したツールを提供する。
- ・MEMS、光学システム、RFIDなどのコア技術やモノ創り力をいかし、ハードウェア・ソフトウェア・ネットワークを一体的に提供することにより、高い付加価値を提供する。

ネットワーク&コンテンツ事業

- ・次世代コンテンツ配信システム「Einy」により、大容量データ配信における信頼性とコスト競争力の高い通信インフラを提供するとともにコンテンツ作成・配信事業を行う。
- ・エグジティングの顧客・事業基盤やコンテンツ作成能力を活用し、ユニークなサービスを提供する。

3. P&H、M&S 事業における特定カテゴリーで NO. 1 という基本方針を継続し、収益貢献を目指す

- ・P&H 事業(パーソナル・アンド・ホーム事業/家庭用マシン)と M&S 事業(マシナリー・アンド・ソリューション事業/工業用マシン・産業機器)においては、引き続き収益性を重視し、ブラザーの強みをさらに強化・拡大することで、特定カテゴリーでの NO. 1 の地位を確立する。
- ・新興市場での販売拡大や独自技術による差別化を図ることで高い収益性の確保を目指す。

4. その他

●新しい組織体制の構築

- ・プリンティング事業と新規事業を本社機能と一体化し、経営資源を集中させるとともに、迅速な意志決定のもとプリンティング事業の拡大と新規事業の成長を加速できる体制を構築する。

●品質マネジメントの強化

- ・「ブラザー・バリューチェーン・マネジメント(BVCM)*」のプロセス改善を通じ、お客様満足度をさらに高める施策・仕組み作りを行う。

* デマンドチェーン、コンカレントチェーン、サプライチェーンから構成されるブラザーのモノ創りの基本コンセプト

●人材の充実

- ・研究開発部門、製造系部門において人員の大幅な拡充を行い、早期の育成を図る。
- ・開発設計業務を中心に人材のグローバル化を図る。

●CSR 経営の推進・定着

- ・CS(顧客満足)とES(従業員満足)のさらなる強化とともに、グループ全体で環境対応力の強化を図る。

以上

<報道関係 お問い合わせ先>

広報・総務部 広報・IR グループ 奥山・田丸 TEL : 052-824-2072 FAX : 052-811-6826 E-mail : kouhou@brother.co.jp